

取扱説明書 Ver 1.00

TP-880R

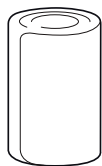
# エントリー2ルーム エルフィールド



このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品はキャンプ用シェルターです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

## セット内容

セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。



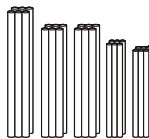
本体



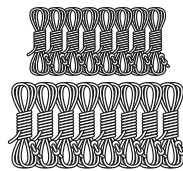
インナールーム



ルーフシート



フレーム長(×1)、フレーム中(×2)  
フレーム短(×1)、リッジポール(×1)



自在付ロープ  
(2.5m×8、1.5m×8)



ジュラルミンペグ  
(21cm×22)



キャリーバッグ×1



フレームケース×1

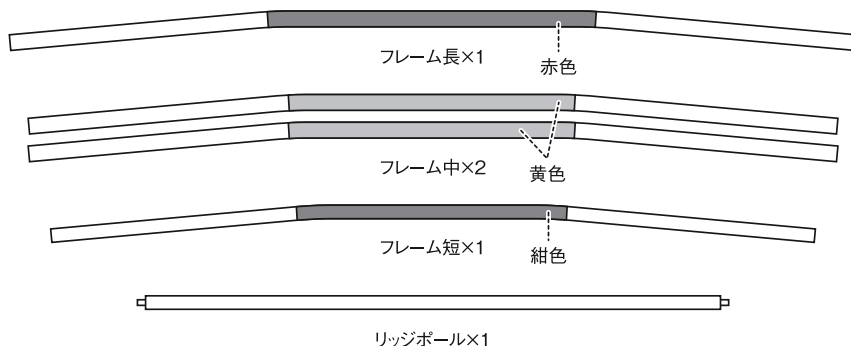


ペグケース×1

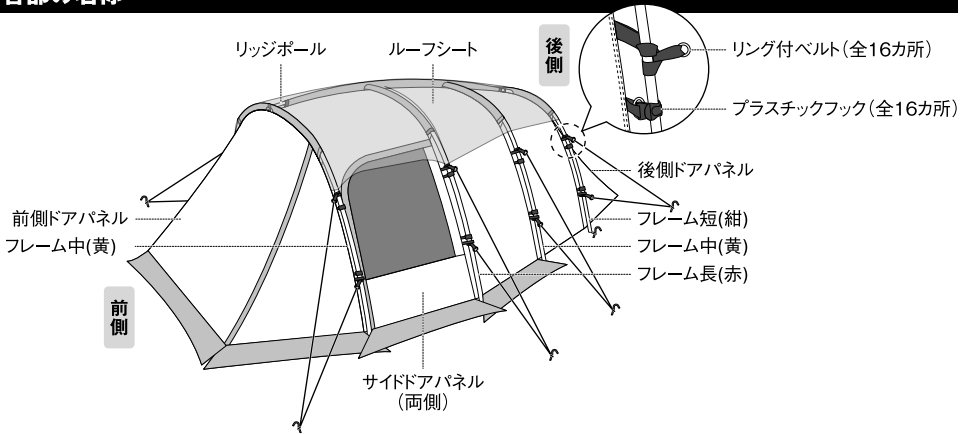


取扱説明書(本書)×1

## フレーム構成



## 各部の名称



**安全上の注意事項** ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

### ⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃烧式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などの恐れがあり大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



### ⚠ 警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりシェルター内は高温になり、熱中症などの危険があります。お客様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



### ⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

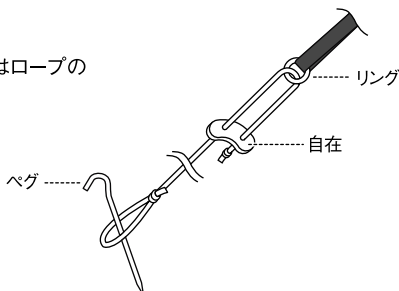
- 本製品は常設用ではありません。シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返り等で思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- ペグとロープでしっかりとシェルターを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損する恐れがあります。ご注意ください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやペグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- 本製品は非自立型のシェルターです。ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書(本書)に従い必ずすべてのロープを張ってください。

## 初めてお使いになる前に

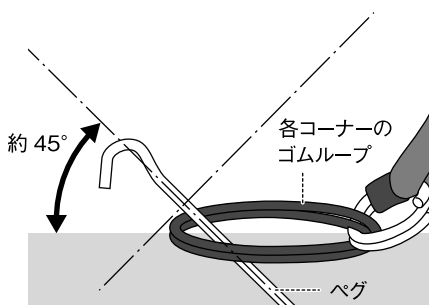
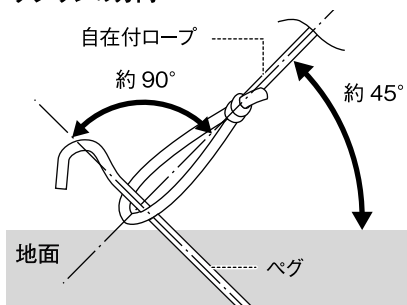
品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の不足があった場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。

### ■ ロープの取付け方

リング付ベルト先端のリングにはロープの返し部分を通してください。



### ■ ペグダウンの方向



#### 【ロープへのペグダウン】

ペグダウンはシェルターからできるだけ遠くに行ってください。設営したとき、ロープの角度が地面に対し約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

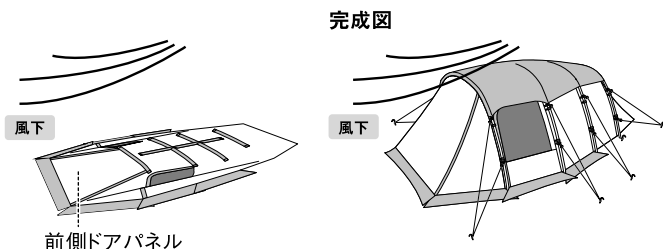
#### 【ゴムループへのペグダウン】

ペグを打ち込む角度は地面に対し約45°になるようにペグダウンしてください。

## 設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

設営・撤収は以下の説明に従い繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。また、付属品が全て揃っているか前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やフレームや本体の破損や事故の原因になります。本書をよくお読みになりご使用ください。

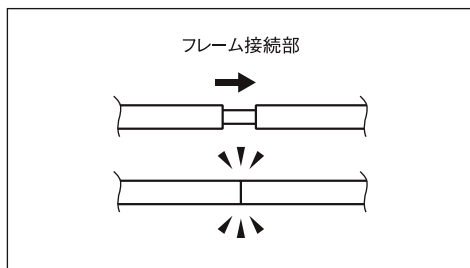
- 1 本体を設営する平坦な場所に広げてください。このとき、基本的には出入り口となる前側ドアパネルが風下を向くように広げてください。前側ドアパネルを風上に向けて、風雨が侵入したり、ドアを開けた際に突然風が入り本体が飛ばされたり、破損する場合があります。



- ② フレーム長(赤)×1、フレーム中(黄)×2、フレーム短(紺)×1、リッジポール×1を伸ばし、接続部を確実に連結させてください。

※フレームの連結部にすき間がある状態で設営すると、本体やフレームを破損する場合があります。すき間ができないように、しっかりと差し込んでください。

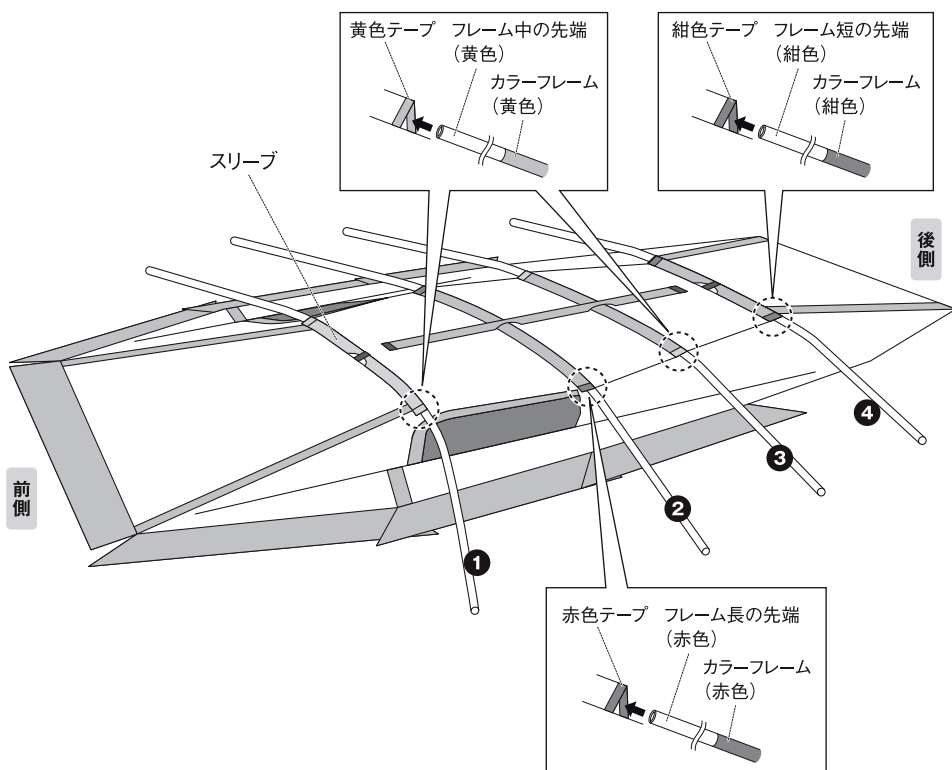
※接続されたポールを取りまわす際は周囲に十分注意してください。



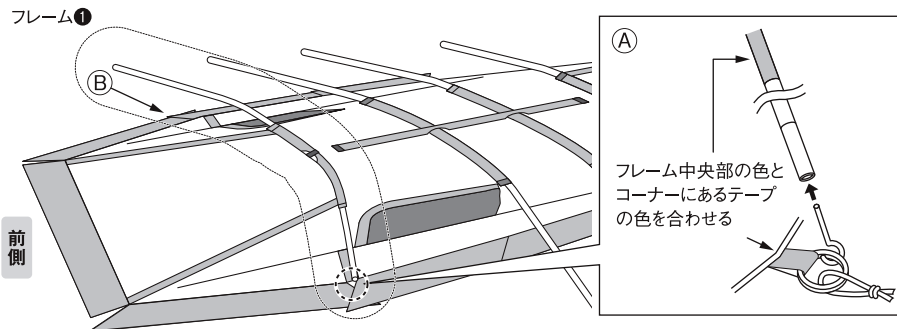
- ③ 色のついたフレームをスリーブに通してください。前側から順に、フレーム中(黄)、フレーム長(赤)、フレーム中(黄)、フレーム小(紺)の順番でスリーブ内に通します。両側面に1人ずつ立ち、片側からフレームをスリーブに通してください。

※スリーブにフレームを差し込む際は、フレームを「押し入れて」ください。フレームを引っ張るとフレームの接続部がスリーブの中で抜け、生地を噛んでしまいますのでお止めください。

※作業を行う際は、反対側に立つ人と声を掛け合いながら作業を行ってください。

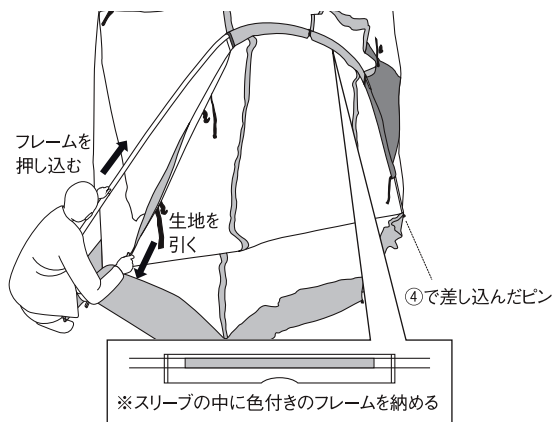


- ④ フレーム①の末端に本体下部のコーナーにある黄色テープに付いているピンを差し込んでください(図中④A)。ピンが付いているテープとフレームの色が合っていることを確認してください。

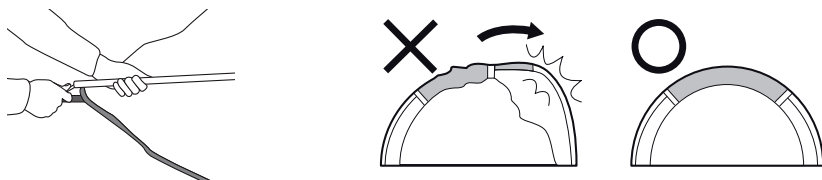


- ⑤ ④でピンを差し込んだフレーム①のもう片方の末端も同様に、④の図中Bの位置にある黄色テープに付いているピンを差し込んでください。フレームを片手で持ち、生地を引きます。フレーム中央の色がついた部位がスリーブ内に完全に隠れるようにしてください

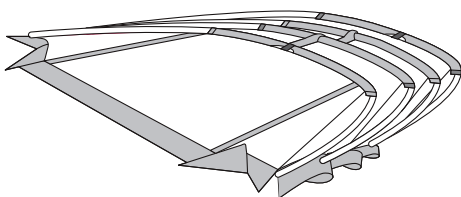
- ※過度に生地を引きすぎないでください。生地本体、もしくはフレームが破損する恐れがあります。
- ※フレームとピン之间に指を挟まないよう気をつけてください。
- ※フレームはしっかりと握って作業を行ってください。フレームの端部が跳ね返り大変危険です。



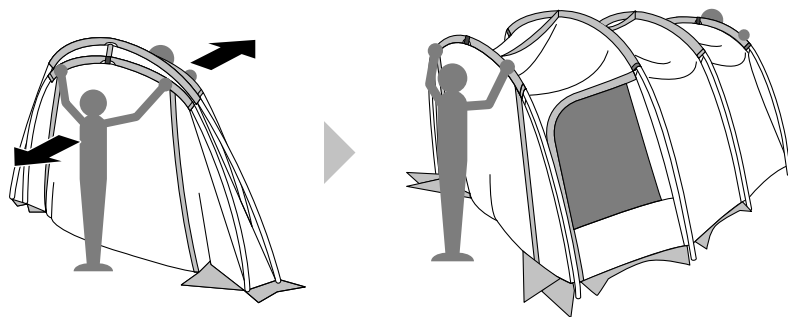
- ⑥ スリーブ部がずれないように注視し、フレームとピンを持ち、ゆっくりとフレームの端部にピンを差し込んでください。フレームを一方から強引に差し込むと大きく湾曲し、破損の原因となりますので反対側の人と声を掛け合いながら行ってください。



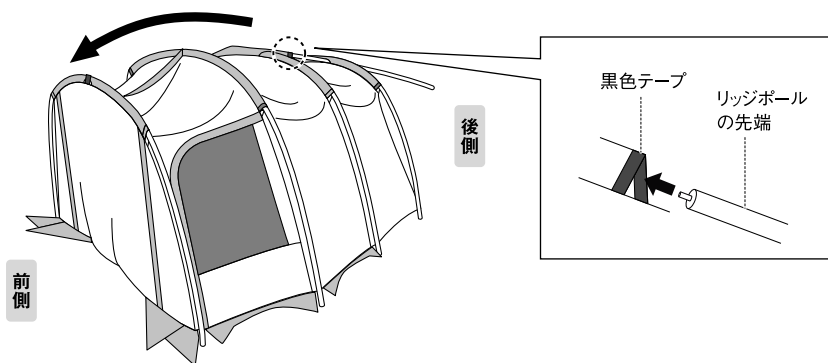
- ⑦ ④⑤⑥と同様の手順で前側よりフレーム②→③→④と順番にピンを差し込んでください。フレーム②を差し込む際はフレーム①の内側に生地とフレームがもぐりこまないようにしてください。通し終わったフレーム②はフレーム①に重ねてください。フレーム③、フレーム④も同様に重ねてください。



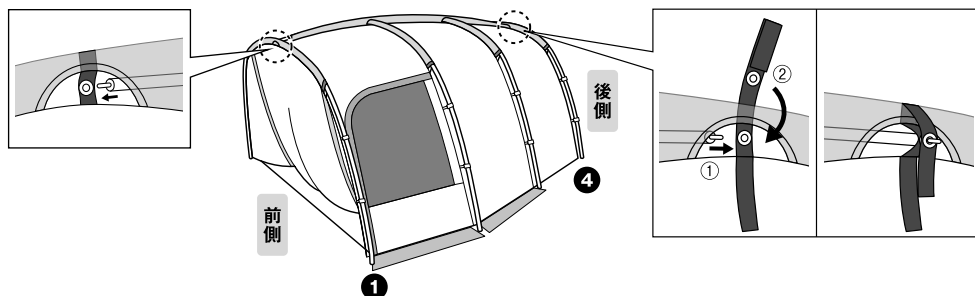
- ⑦ 本体を起こし、1人がフレーム①を、もう1人がフレーム④を持ち本体を縦に伸ばしてください。  
 ※風がある場合はコーナーを左右対称に2カ所ペグダウンしてから作業してください。



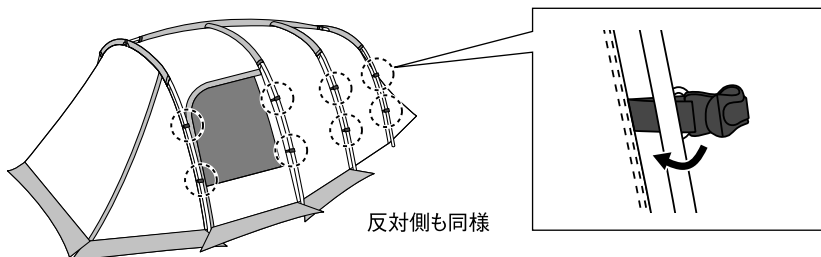
- ⑧ 黒色テープの付いたスリーブに後側からリッジポールを通してください。  
 ※前側に立つ人はフレームがスリーブに引っかからないことを確認し、声を掛け合いながら作業してください。  
 ※スリーブに差し込む際は、フレームを「押し入れて」ください。フレームを引っ張るとフレームの接続部がスリーブの中で抜け、生地を傷んでしまいますのでお止めください。



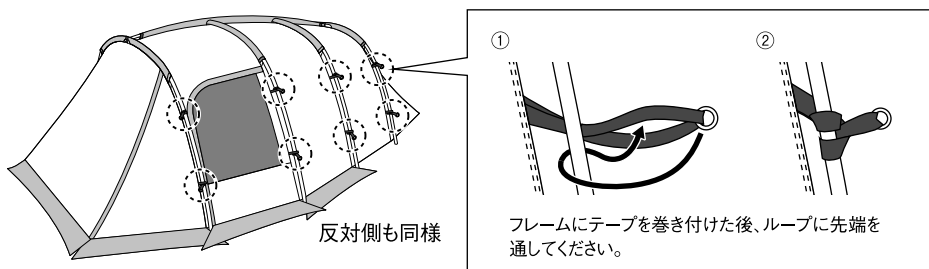
- ⑨ リッジポールの両端をフレーム①とフレーム④の上部にあるテープのグロメットに差し込んで固定してください。  
 リッジポールは、前側のグロメットに差し込んだ後、後側のグロメット付テープに図のように差し込んでください。



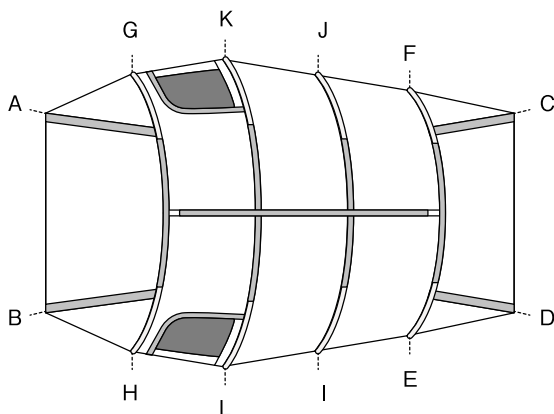
- ⑩ 本体に付いているすべてのプラスチックフックをフレームに掛けてください。(全16カ所)  
 ※フレームとフックの間に指を挟まないよう気をつけてください。  
 ※プラスチックフックが付いているテープがねじれないように掛けてください。



- ⑪ 本体に付いているすべてのリング付テープを図のようにフレームに巻き付けてください。(全16カ所)

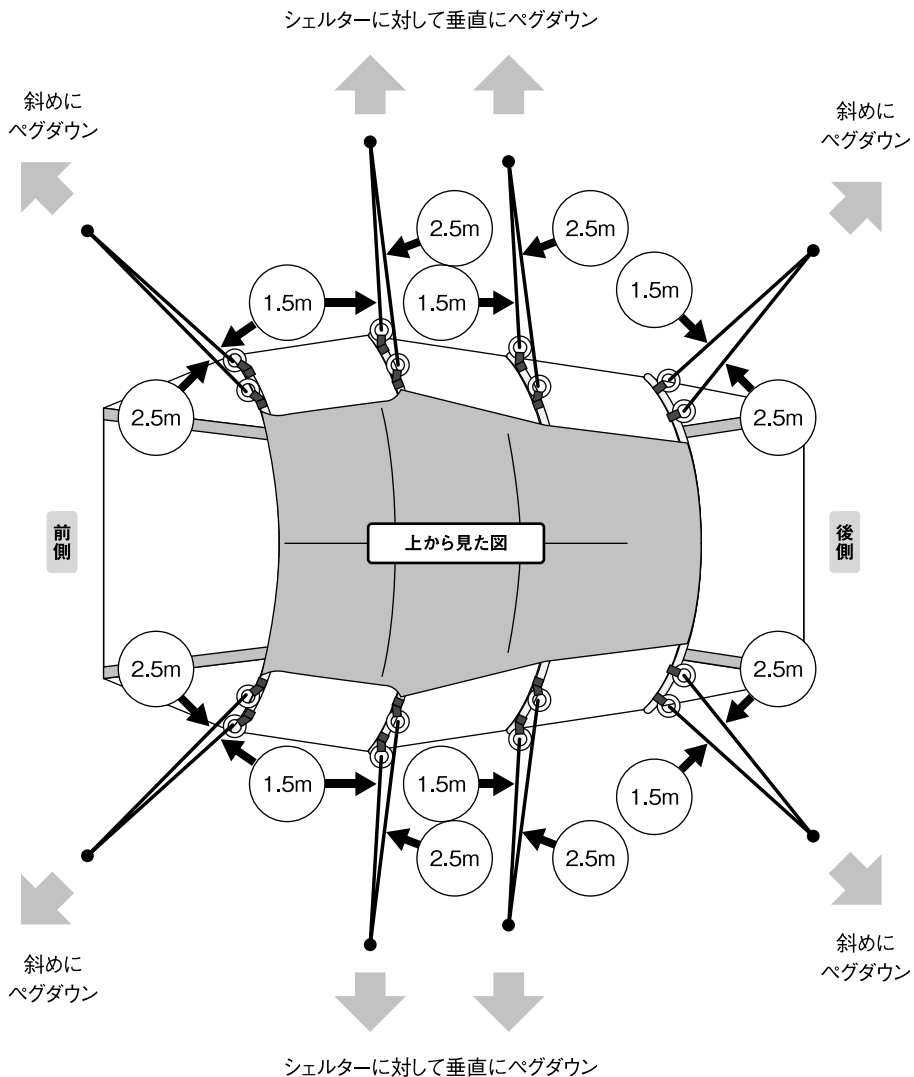


- ⑫ 各コーナーにあるゴムループを図のアルファベット順にペグダウンしてください。



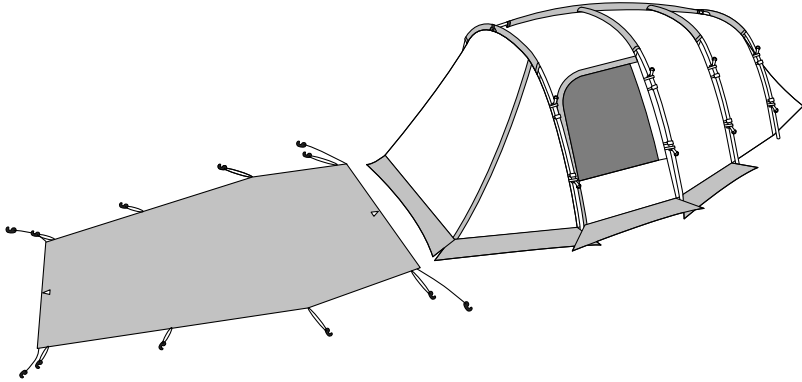


- ⑬ 図に従いロープを本体に取り付け、ロープをペグダウンしてください。  
 ※強風でシェルターを飛ばされたり、フレームを破損させないためにも、しっかりとペグダウンしてください。

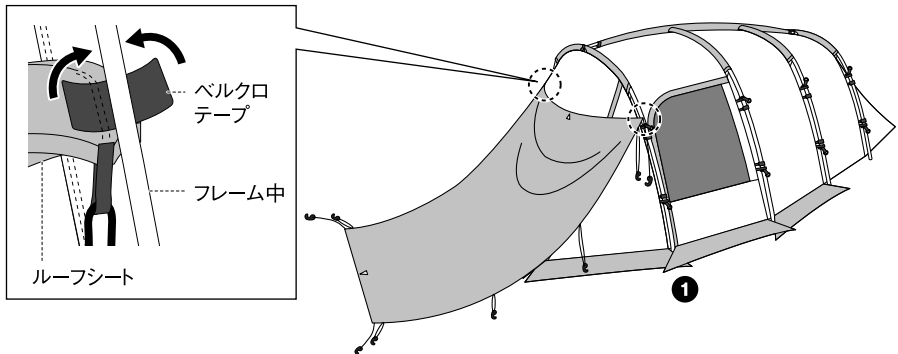


## ルーフシートの取り付け

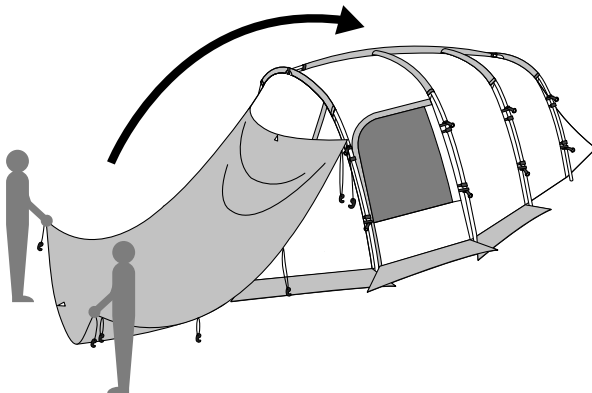
- ① ルーフシートをシェルターの前に裏面(ロゴの印刷がない面)が上を向くように広げてください。  
図のように、幅が広い側をシェルターの方に向けてください。



- ② ルーフシートは裏返しのまま、本体側にあるベルクロテープ(2カ所)をフレーム①の図の箇所巻き付けてください。



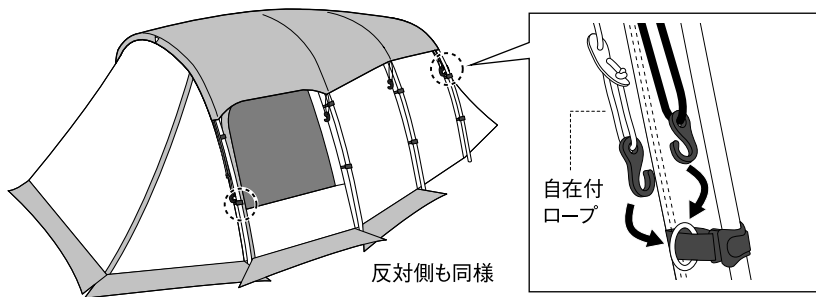
- ③ 2人がルーフシートの端をそれぞれ持ち、ルーフシートをひっくり返しながら後側までシェルターにかぶせてください。



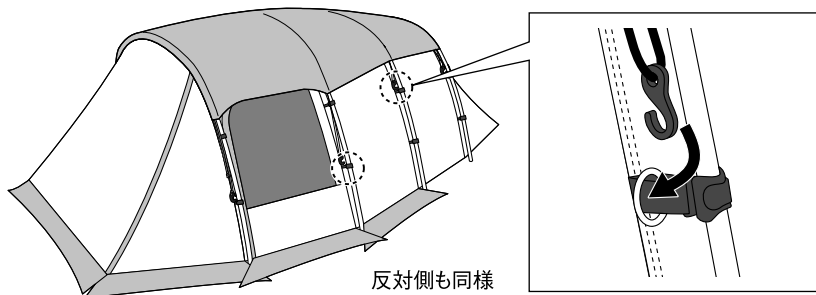
- ④ ルーフシート各コーナーの裏面にある残りのベルクロテープ(全6カ所)をシェルターの各フレームに巻き付けてください。このとき、リッジポールをルーフトシートの穴に通して外から見えるようにしてください。



- ⑤ ルーフシートの図の箇所にあるプラスチックフックが付いているテープのリングにフックを引っ掛けてください。各リングにはフックを2個ずつ引っ掛けてください。フックを引っ掛けた後、自在付ロープの自在を使いロープの張り具合を調整してください。

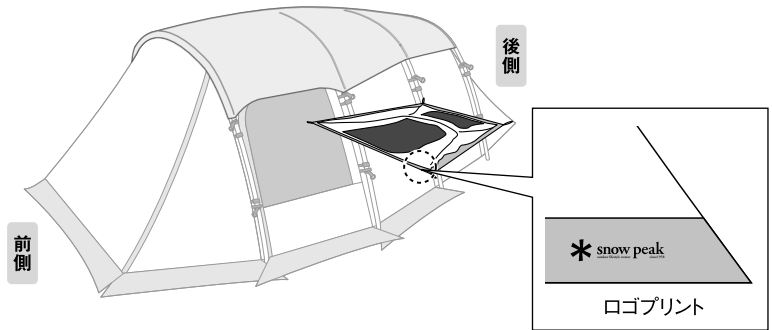


- ⑥ ルーフシートの残りのフック(全4カ所)を本体のプラスチックフックが付いているテープのリングに引っ掛けてください。

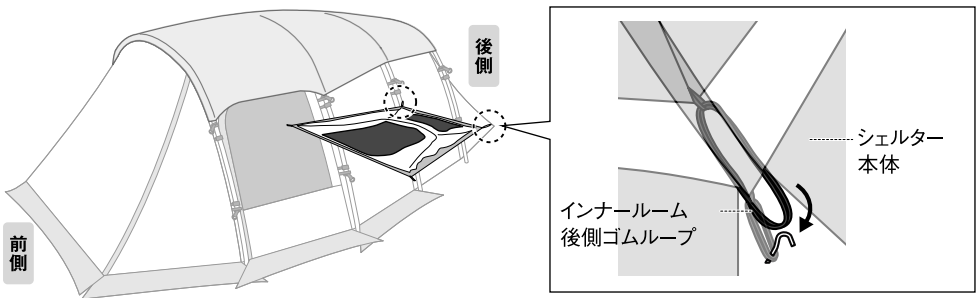


## インナールームの取り付け

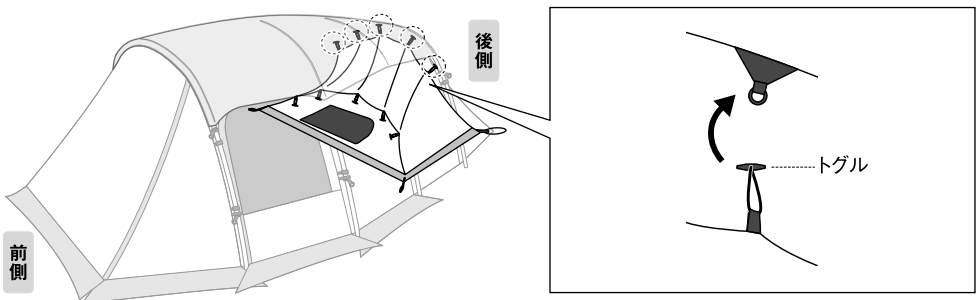
- ① インナールームを本体内側の後側に広げ、本体との接続箇所を確認してください。インナールームはロゴのある面を前側に向けてください。



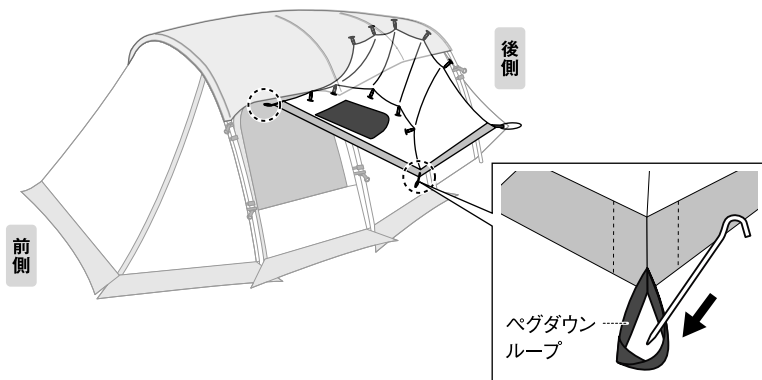
- ② インナールーム後側のゴムループをシェルターの設営に使用しているペグに引っ掛けてください。



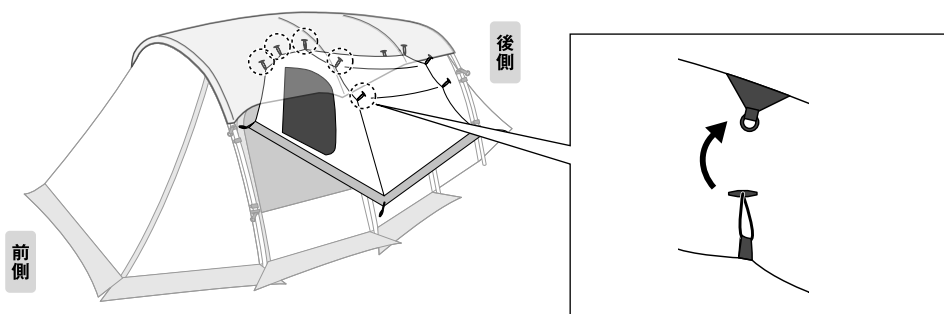
- ③ インナールームの後側のすべてのトグルを本体内側にあるリングに引っ掛けてください。



- ④ インナールーム前側のペグダウンループを引きながらペグダウンしてください。



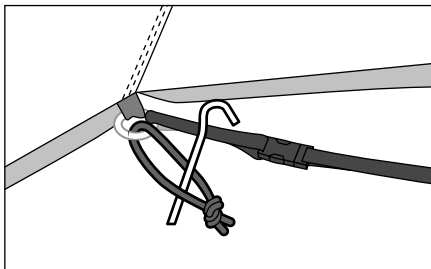
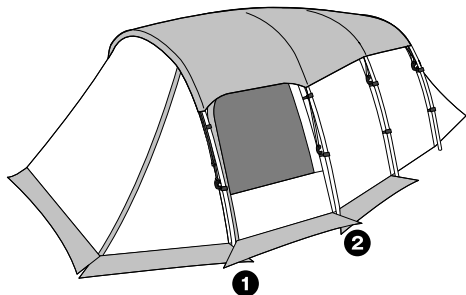
- ⑤ インナールーム前側のすべてのトグルを本体内側にあるリングに引っ掛けてください。



## ビルディングテープをはずす場合

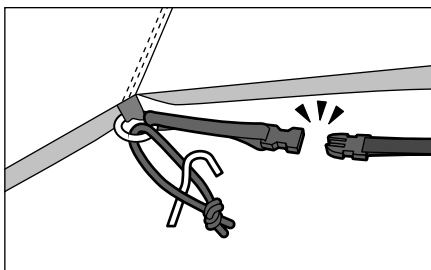
お子様などがビルディングテープに足を引っ掛けることを防ぐため、ビルディングテープをはずすことがあります。ビルディングテープをはずすとシェルターの強度は下がるため、基本的にはビルディングテープははずさないでください。

- ① ビルディングテープをはずした際、シェルターが外側へ広がるのを防ぐため、フレーム①とフレーム②の末端にあるゴムループを固定しているベグを本体外側から内側へ打ちかえてください。(全4カ所)



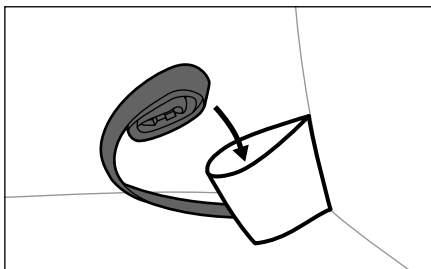
- ② ベグを内側へ打ちかえた事を確認し、ビルディングテープをはずしてください。

※インナールームの下にあるビルディングテープははずすことができません。



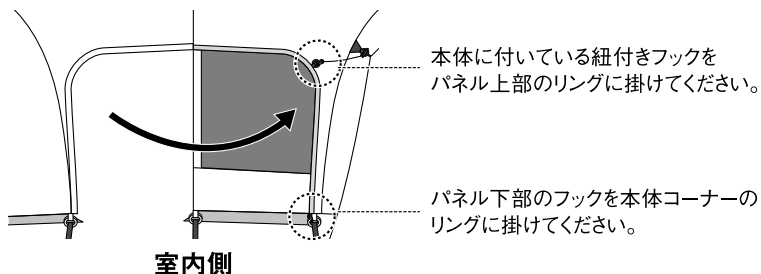
- ③ はずしたビルディングテープを丸めて、収納ポケットへ入れてください。

※撤収する前にはビルディングテープを再度接続してください。ビルディングテープをはずしたままだと次の設営ができません。



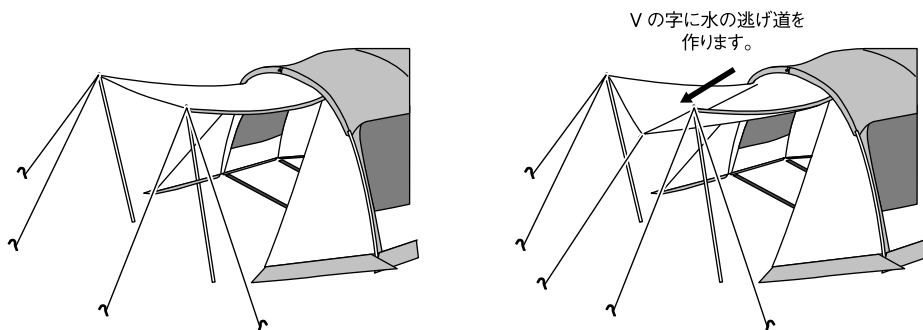
## サイドドアパネルを開放する場合

サイドドアパネルを室内側にたたみ、図のように固定してください。



## ドアパネルを跳ね上げる場合

- ① ドアパネルは別売のTP-080 アップライトポールセットを使用してください。アップライトポールをドアパネルの端にあるグロメットに差し込み、二又用ロープをベグダウンし固定してください。
- ② 雨天時は水溜まり対策としてポールを短く使い、ドアパネルの中央に付いているループにロープを通し、そのロープをベグダウンしてパネルをVの字に下げること、雨水が溜まるのを軽減します。

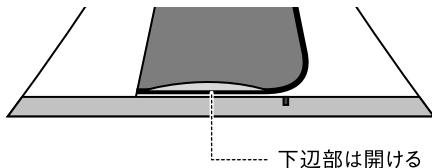


## 撤収・収納時の注意事項

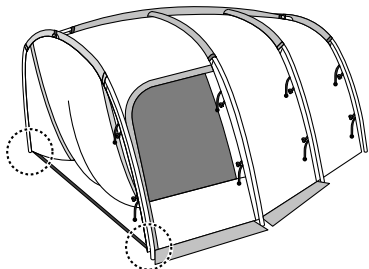
- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールーム等を取り付けた場合や、テントを接続していた場合は、必ずインナールームやテントを本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中にも何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にビルディングテープのバックルを接続してください。次回設営時にベグダウンしやすくなります。
- フレームをピンからははずす時は、フレームがはね返り危険です。フレームにテンションがかからなくなるまでフレームの先端をしっかり持ち、放さないでください。
- スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押し出しながら取り出してください。フレームを引きながら取り出すと、スリーブの中で連結部がはずれ、生地をはさんで傷つける可能性があります。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ベグはすべて抜き、汚れを落としてベグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリーバッグ等を傷付けることがあります。

**撤収の手順 必ず2人以上で撤収してください。**

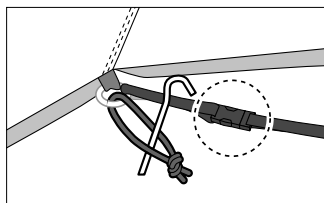
- ① 本体に取り付けてあるルーフシートのベルクロテープとフックをすべて取りはずし、ルーフシートを本体から取りはずしてください。
- ② インナールームの中に何も入っていないことを確認し、インナールームのすべてのトグルやループを本体やベグから取りはずしてください。このとき、インナールーム前後ドアパネルの下辺部のジッパーを開けておくと折りたたむ際に空気が抜けやすくなります。



- ③ すべてのベグを地面から抜き、ロープを結んでまとめてください。このとき、リング付テープ(全16カ所)もフレームから取りはずしてください。

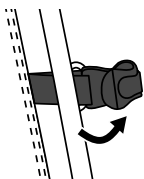


※風がある場合は左右対称に2カ所のコーナーのベグを抜かずに残して作業してください。

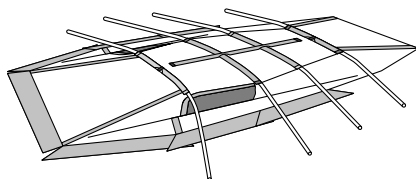


※ビルディングテープを外した場合、必ずビルディングテープをつなぎなおしてください。

- ④ 本体のすべてのプラスチックフック(全16カ所)をフレームから取りはずしてください。

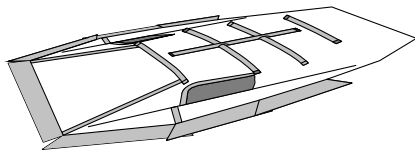


- ⑤ リッジポールをフレーム①とフレーム④の上部のグロメットから片側ずつ外した後、前側から順番にフレームに差し込まれているコーナーのピンを片側ずつ外してください。  
※ピンを外すときは必ず手でフレームをつかんでください。フレームが跳ね上がり大変危険です。



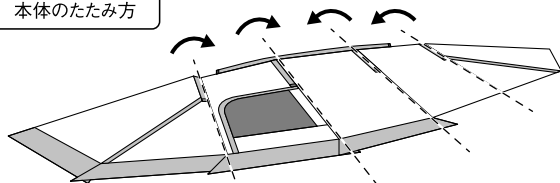


- ⑥ すべてのフレームを本体から取り外してください。  
 ※スリーブからフレームを取り出す際は、周りの状況をよく確認し必ず押し出しながら取り出してください。  
 ※ペグを抜かずに残していた場合はすべてのペグを抜いてください。

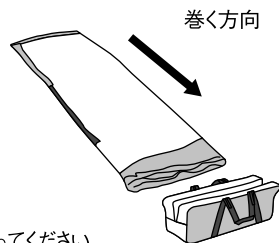


- ⑦ 本体とインナールーム、ルーフシートをキャリーバッグの大きさに合わせて折りたたんでください。  
 本体は黒色テープが付いたリッジポール用のスリーブを中心に2つ折りにし、各スリーブを目印に折りたたんでください。

本体のたたみ方

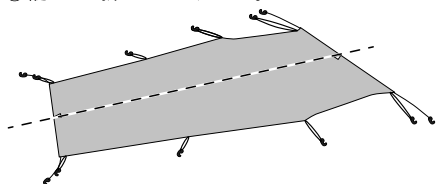


スリーブの位置を目印に外側から内側に折ってください。

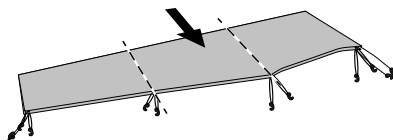


ルーフシートのたたみ方

- ① 縦に2つ折りにしてください。

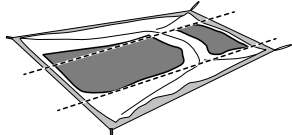


- ② 縫い目に合わせて3つ折り矢印の方向に巻いてください。

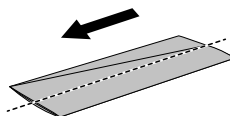


インナールームのたたみ方

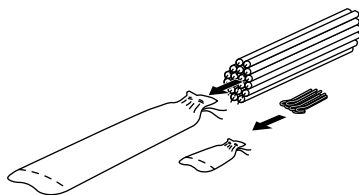
- ① 縦に3つ折りにしてください。



- ② 縦に2つ折りし矢印の方向に巻いてください。



- ⑧ フレームやペグは付属のフレームケース、ペグケースに入れてキャリーバッグに収納してください。



## 結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気を行ってください。

## 撥水・防水性能について

- 本体やルーフシートには高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農業などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

## 紫外線の影響について

- 本製品にはフライシートの生地にUVカット加工を施しています。  
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

## メンテナンス・保管

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収をしてください。
- 次の使用に備え、ロープやベグなどの付属品も含め、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

## 品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してありますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

## 修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
  - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
  - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

## スペック

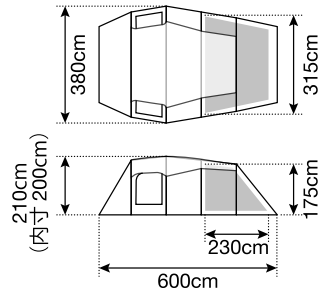
○セット内容:本体、インナールーム、ルーフシート、フレーム長(×1)、フレーム中(×2)、フレーム短(×1)、リッジポール(×1)、ジュラルミンベグ(21cm×22)、自在付ロープ(2.5m×8、1.5m×8)、キャリアバッグ、フレームケース、ベグケース

○材質:本体/75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・UVカット加工・テフロン撥水加工、ルーフシート/75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・UVカット加工・撥水加工、マッドスカート/210Dポリエステルオックス・PUコーティング、インナーウォール/68Dポリエステルタフタ、ボトム/210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム/A6061(φ16mm+φ14.5mm)

○キャリアバッグサイズ:83×30×34(h)cm

○重量:15.5kg

○対応人数 4名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

☎ 0120-010-660 (9:00~17:00)

E-mail: userservice@snowpeak.co.jp

## 株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

tel:0256-46-5858 fax:0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN VIETNAM